

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 能美市立粟生小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒 923-1110  
石川県能美市粟生町口45番地

E-mail : ao-els@school.city.nomi.ishikawa.jp  
 Website : http://www.school.city.nomi.ishikawa.jp/~aoewww

児童生徒数：男子 134 名 女子 122 名 合計 256 名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### 1. 国際理解

#### (1) 外国語活動

担任とEAAで、音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成した。

#### (2) ユネスコ活動の学習

白山ユネスコクラブの石崎先生をお招きし、3年生がお話を聞いた。本校がユネスコスクールに認定された経緯や白山ユネスコ活動について知り、書き損じはがき集めなど、進んで活動を行おうと活動意欲が高まった。

#### (3) ユネスコ寺子屋運動への支援

ボランティア委員会が全校に呼びかけて、書きそんじ葉書、古切手、文房具集めや1円玉募金を行った。教材屋さんにも、文房具の古いものを提供してもらった。集まった葉書、古切手、1円玉募金、文房具を白山ユネスコクラブに届けた。また交流のために、好きな日本語をカードに書くなどメッセージをまとめ、白山ユネスコを通して、カンボジアに送り、カンボジアからも手紙をいただいた。

#### (4) 英語で遊ぼう

国際交流員2名をゲストティーチャーに招き、課外で5、6年生を対象に「英語で遊ぼう」を実施した。英語に親しむだけでなく、いろいろな国の文化の共通点や違いを学ぶことができた。

### 2. 生物多様性・環境

#### (1) トミヨの飼育と観察

粟生小校区にある熊田川は絶滅危惧種トミヨの生息の南限にあたる。一時は絶滅したと考えられていたトミヨを本校の児童が総合的な学習の時間に発見し、それ以来、飼育委員会が中心となり、校内のビオトープでトミヨの飼育、繁殖活動を行った。

### 3. 食育

#### (1) 5年生の稲作体験と教科横断的な学習

5年生の社会科の学習と並行して、総合的な学習の時間で田植えや稲刈りなどの体験を取り入れた学習を行い、家庭科で獲れた米を使った料理の献立作りと調理を行い、食に関する学習を進めた。

#### (2) 食に関する指導

毎月、給食の献立をもとに、食に関する伝統文化についての理解や食を通しての国際理解などを広める指導を行っている。

また、6年生の家庭科では栄養士にバランスのとれた食事の在り方について学び、それを基に全員が給食の献立作りを考え、優秀作は実際に献立に採用した。

### 4. 伝統文化

#### (1) 伝統工芸九谷焼の学習

4年生の社会科と総合的な学習の時間で、地元作家の協力を得て、能美市の伝

統工芸九谷焼の学習や絵付け体験などを行い、地域に伝わる伝統文化の理解を深めた。

(2) 粟生に伝わる獅子舞や昔話の学習

3年生の総合的な学習の時間で、地域の方を招いて地域に伝わる粟生獅子舞を調べたり、習ったりした。また、地域の民話調べを行い、民話を通して校区の歴史を学んだ。

(3) 粟生かるたを活用した取組

校区を題材にしたかるた（粟生かるた）を使って1年生の生活科「むかしあそび」や児童会の冬のあそびとして取組み、地域理解を図った。

(4) 親子ポスター「あおのすてき」制作

夏休みを利用して、地域のすてきなものを選び、親子ポスター作りを推奨し、91%の参加を得た。秋には親子ポスター展を地域と協力して行った。

## 5. 防災教育

(1) 手取川大洪水と地域の人々

4年生の総合的な学習の時間や3年社会科の校区の学習で昭和9年の手取川大洪水で被害を受けた後、復興に取り組んできた地域の人々の様子や願い、地域に残る洪水にまつわるいろいろなものについて学習し、自ら身を守る事の大切さや、命の大切さについて考えた。

## 6. 人権

(1) こころの花運動

全校児童が花を育て、地域の高齢者宅に保護者とともに訪問して、花を贈る運動を行った。地域の方からたくさんのお礼の言葉をいただくなど、児童と地域や高齢者とのつながりを育む活動となった。

(2) あいさつ運動の取組

児童会あいさつ憲章をもとに、あいさつ運動に取り組んだ。親子あいさつ標語を募集し、標語コンクールを行った。入選作品は、ポスターにまとめ、校区の各家庭に配布した。7月にあいさつ大会を開催し、親子や地域の方々に参加をいただき、あいさつを交わし合い、意識を高めた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（                      ）